

昭和を奏でる レコードと蓄音機展

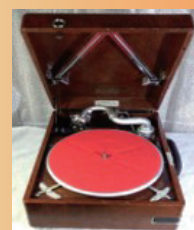
9月の喫茶去7展示コーナーでは、『昭和を奏でるレコードと蓄音機展』が開催されます。昭和の始め（昭和2年）に日本に入ってきた蓄音機は日本音楽発展の基となりました。流行歌をはじめ、童謡や浪曲など、多くの名曲がレコードを通して親しまれ、人々の心を豊かに彩ってきました。本展では、昭和5～10年頃に製造された蓄音機や、蓄音機の歴史を紹介する資料、78回転レコードのほか、当時を代表する歌手やレコードジャケットなどの写真が展示されます。懐かしい昭和の思い出に浸る方も、初めて目にする方も、音楽とともに歩んできた時代の息吹や、文明・文化の歩みに思いを馳せながら、ぜひゆっくりとご鑑賞ください。



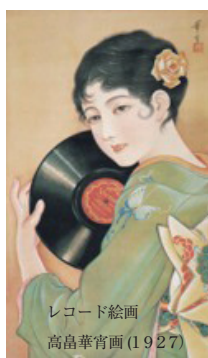
蓄音機（昭和5年発売）



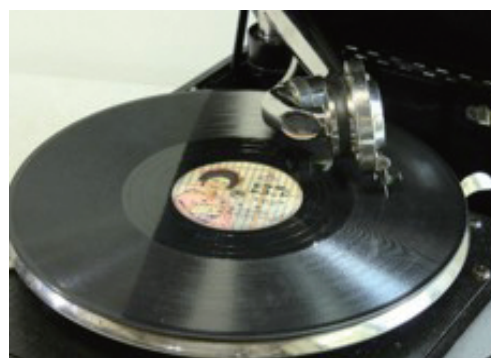
蝋管蓄音機(初期蓄音機)



携帯型蓄音機



レコード絵画
高島華宵画(1927)



【蓄音機実演・レコード鑑賞会】9月21日(月)～24日(木) 14:00～15:00

昭和10～40年代に親しまれたSPレコードの音色を聴いてみませんか?上記日程で、実際に蓄音機でSPレコードを演奏します。蓄音機は音量調整ができず迫力ある音色が特徴のため、実演は短時間となります。その後は、レコードプレーヤーで昭和の歌謡曲や童謡、民謡などをゆっくりとご鑑賞いただけます。

【開催者：町田 光三】

蓄音機・レコード収集
応用理学技術士
日本技術士会会員
相模原市中央区
千代田在住

令和8年9月1日(火)～9月30日(水) 9:00～17:00 ※土・日は休館

会場：社会福祉法人悠朋会 千代田7丁目センター1F 喫茶去7

住所：相模原市中央区千代田7丁目12-13

◇栄公園前バス停から徒歩2分◇相生3丁目バス停から徒歩1分

